

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

2003 年 12 月 8 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

dekioka@hikarikeizai.co.jp

引き続き対等数値のかたちについてご説明します。先週は日柄と日柄に**あいだが空く**ケースについてご説明しました。(12月1日号のレポート参照)

今回は **8258 オーエムシー (OMC) カード** のチャートに注目して下さい。

2001年7月高値689円から、2002年6月高値565円までの日柄は**49週**。この高値と高値のあいだの2001年12月安値214円から、2002年11月安値200円までの日柄も**49週**。

このケースは前回ご説明したのと異なり、日柄と日柄に**あいだが空く**のではなく、**日柄と日柄が重な**っています。これもとてもよく見られるかたちなのです。

さらに、その後もこの**49週**という日柄は強く影響しているようです。2002年11月安値200円から、2003年10月高値423円までの日柄も48週でした。(49週に対して誤差が1週)

過去の相場についやした日柄は今後の相場にも強く影響する…

次回に続きます。

この件に関するお問い合わせは 03-3669-5022 入会ご希望の方は dekioka@hikarikeizai.co.jp

毎日更新、旬な銘柄を選んで分かりやすく解説する、無料テレフォンサービスの「人気株情報」 03-3669-5552 で放送中、是非お聞きください。

《OMCカード》週足



Alpha Chart 社製

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。